

コロナ対策は「緩和」でなく体制強化を

「前週同曜日より減少」というが

コロナウイルス感染者数が、「前週の同じ曜日に比べ、〇〇名減少」との報道が続いています。なんとなく収束に向かっているのではと思います。

しかし、「前週」が大変多い数値だったのです。いまの感染者数も相当多いものです。

13日の新聞報道によりますと、日本の感染者数52917人（世界313008人）、死亡数は145人（世界746人）です。世界的に見ても異常に高いものです。決して安心できる状況ではありません。

本市の人口10万人当たり感染者数が多い

本市での感染者数は、9月13日までで、累計11341人です。およそ8人に1人が感染していることになりました。

連日の「市町別感染者数」の発表に、本市が人口の割に近隣市より多いのではと感じておられる方も多いのではないのでしょうか。

県ホームページには、人口10万人あたり1週間の新規感染者数が掲載されています。9月8日現在のものを下表に示しました。

県全体では641.6人ですが、本市では896.6人（県の4割増）で、相当多くなっています。近隣市と比べても（磐田市670.2人、掛川市660.5人など）と比べても

市町別一週間の人口10万人当たりの感染者数

市町名	感染者数	市町名	感染者数	市町名	感染者数
下田市	369.5人	伊豆の国市	496.3人	牧之原市	632.4人
東伊豆町	446.9人	函南町	591.5人	吉田町	567.3人
河津町	134.2人	清水町	702.9人	川根本町	163.3人
南伊豆町	245.4人	長泉町	865.1人	磐田市	670.2人
松崎町	638.2人	御殿場市	565.3人	掛川市	660.5人
西伊豆町	537.6人	小山町	411.9人	袋井市	896.6人
熱海市	518.9人	富士市	674.2人	御前崎市	519.4人
伊東市	483.2人	富士宮市	679.8人	菊川市	554.0人
沼津市	550.2人	静岡市	742.6人	湖西市	729.0人
三島市	613.2人	島田市	794.2人	森町	817.2人
裾野市	677.5人	焼津市	754.9人	浜松市	636.5人
伊豆市	525.0人	藤枝市	659.0人		

大きな差があります。県下で一番多くなっています。

これだけ感染数も多いのですから、感染経路や感染条件、ワクチン効果など検証されることが多いのではないのでしょうか。

6・7波の科学的分析、体制強化を

政府は、7日、コロナ療養期間の短縮する緩和の方向にかじを切りました。有床状の場合、療養期間を10日間から7日間に、無症状で7日間を5日間に（抗原検査などで陰性が条件）短縮です。

国立感染症研究所の解析では、ウイルス検出割合は有床状で、11日目3.6%、8日目では16%、無症状でも6日目12.5%とリスクが残ります。リスクの説明もせず、議論も不十分で、「短縮方針ありき」で進められました。

8日に示された『基本的な考え方』では、「高齢者・重症化リスクのあるものに対する適切な医療の提供を中心...」とあり、それ以外のコロナ患者は医療にアクセスできなくてもいいとなりかねません。

第6波、第7波で起きた医療崩壊など深刻な事態を直視せず、成り行き任せを続けてきた反省を踏まえ、科学的知見を集めた対策と、保健所の増設も含めた抜本的な体制強化が必要です。

竹村眞弓議員、初仕事で成果

ワクチン接種タクシー利用に助成

昨年4月の市議選で、「新型コロナ対策」などを訴えて当選した竹村議員は、高齢者を対象に始まったワクチン接種で、接種会場へ自力（家族などの協力も含む）でいけない方がおられたため、タクシーを利用する方に代金を助成することが必要だと、市に対して他市の状況を示すなど強く要望し、「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種タクシー利用助成事業」を実現させました。

『令和3年度市政報告書』には、下記のような事業結果が掲載されています。

利用者数 1341人
助成金額 804,600円

法的根拠もなく憲法に反し、
莫大な国費を使い、民主主義を破壊する

国葬中止を

日本共産党100周年記念講演会 を視聴するつどい

9月25日（日）午後1時半より
日本共産党袋井市委員会事務所